



富士市立小中学校

新しい学校づくり通信

Vol.2

富士市シティプロモーション大使
さもにゃん

令和8年7月14日発行 富士市教育委員会 学校適正配置推進室



★ 小中学校再編計画等策定委員会を開催しています

令和7年度から、学識経験者・PTA代表・地域の代表・公募市民・保護者代表・校長先生が委員となり、富士市の目指す「新しい学校づくり」について話し合いを行っています。

これまでに4回の会議を開き、未来を担う子どもたちが安心して通うことのできる『これからの学校像』を明確にするため、令和2年度に策定した小中学校適正規模・適正配置基本方針の改定を進めています。

本号では、“義務教育学校とは??”と、“基本方針改定の検討状況”についてお伝えします🎵。

◎会議の開催状況

第1回	令和8年2月6日（金曜日）
第2回	令和8年3月27日（金曜日）
第3回	令和8年5月18日（月曜日）
第4回	令和8年7月2日（木曜日）

「義務教育学校」とは??

学校教育法の改正により平成28年から新設された制度で、小学校の6年間と中学校の3年間（計9年間）の教育を一貫して行う、**新しい種類の『学校』**です。

従来の「6・3制」とは異なり、一人の校長と一つの教職員組織のもとで、9年間の連続したカリキュラム「**4・3・2制**」などを実施できることが特徴です。

全国の義務教育学校の数はいくつか、261校（R7.5.1時点）で、まだ小中学校の1%にも満たない数ですが、毎年増加しています。なお、県内の義務教育学校は3校で、**富士市では未設置**です。

基本方針改定の検討状況

第1回（R8.2.6）

第1回会議では、まず委員への委嘱状（校長は辞令）を交付しました。

続いて、太田教育長から、本市の教育体制の現状や本委員会を設置した経緯について挨拶があり、その後、委員の自己紹介と委員長の選任を行い、静岡大学の**武井教授が委員長に選任**されました。

協議事項は、

- (1) 適正規模・適正配置基本方針の改定について
- (2) 今後のスケジュール

の2点で、事務局の説明後に協議を開始し、第1回から活発な意見交換が行われました。具体的には、現状把握と協議の方向性の確認が中心となりました。

★★主な意見★★

- ・施設のあり方として、**小中一貫校を目指すのか、義務教育学校を目指すのか**、方向性を明確にする必要がある。
- ・**閉校後の活用**は、地域にとって重要な課題である。
- ・松野学園については、義務教育学校ではなく小中一貫校であるとの認識で周知を進めていく。
- ・再編により通学距離が延びる場合は、スクールバスの導入など、**見守り体制を確保する仕組みが必要**である。

第2回 (R8.3.27)

第2回会議では、基本方針の改定内容について、前回よりも踏み込んだ協議を行いました。

(1) 適正規模・適正配置について

(2) 今後のスケジュール

の2点で、具体的には、〔小中学校の配置条件〕に『義務教育学校』に関する規定を追加することなどを確認しました。

★★主な意見★★

- ・学校再編は、教育行政だけでなく、**まちづくりと一体的に考える**ことで、新たな可能性が生まれる。
- ・学校再編に当たっては、地域にとってプラスとなる**複合施設の整備**も検討してほしい。
- ・交通手段についても、学校再編と合わせて整理していく必要がある。

第3回 (R8.5.18)

第3回の会議では、改定前後の新旧対照表などを用いて協議を行いました。

具体的には、『**当面の間は現行の中学校区を維持すること**』や、『**将来的には中学校区の再編も視野に入れていくこと**』といった規定を追加することなどを確認しました。

★★主な意見★★

- ・学校再編に当たっては、年齢の低い子どもほど**精神的負担が大きくなる**ことが想定されるため、家庭環境への影響も含めて配慮する必要がある。
- ・少人数で過ごしてきた児童の中には、中学校進学後に大人数の集団への対応が難しくなる場合もあり、保護者も不安を抱えていることから、**再編はよりスピード感をもって進めてほしい**。
- ・**丁寧な情報発信**に努め、学校再編を進める中でも、まちづくりの視点を十分配慮した上で対応してほしい。
- ・再編は、建物や地区割りを基準に進めるのではなく、**「こどもの教育を中心」**に考えるべきである。

第4回 (R8.7.2)

第4回の会議では、基本方針改定版の全編冊子を使って協議を行いました。

今回が**改定に向けた最後の協議**となり、軽微な修正の意見はありましたが、内容に関しては賛同を得られました。また、改定後の周知に関する意見も多く出ました。

★★主な意見★★

- ・周知に当たって、町内会連合会やまちづくり協議会の役員には、紙資料も配布できるよう配慮してほしい。
- ・学校再編に関する情報は、学校関係者を通じて発信した方が、内容の理解や問い合わせ対応がしやすい。
- ・児童生徒数の将来推計だけでなく、**学級数の推移も示した方が**、再編の必要性がよりわかりやすい。
- ・学校再編が進むことで、**通学距離の増加**や周辺地区の**人口減少の加速**が懸念される。



👉会議の様子

@小中学校再編計画等策定委員会の開催状況は、富士市ウェブサイトで公開しています。

詳しくはこちら⇒ <https://www.city.fuji.shizuoka.jp/4005050000/p005559.html>



👉QRコードはこちら

編集後記

家を建て替えるとき、引越しをするとき、生まれ育った我が家との別れは、寂しいものです。

その建物にはたくさんの思い出が詰まっているからです。とはいっても、新たな出発の時、それは乗り越えなければなりません。

新しい場所で新しい生活、新しい世界に新しい自分、

この変化に柔軟に対応し、プラスに転じるしなやかさが必要な気がします。

学校再編を考えたとき、

ふとこんな思いが胸をよぎりました。(Sai)

